



幸手市の教育が目指すもの

子どもがいいきと育ち 市民が学び 活躍できるまち

令和3年度幸手市教育行政重点施策

幸手市教育委員会は、「幸手市教育大綱(第2次)」のもと、国および県の動向を把握しながら、改訂された学習指導要領の確かな実践を図るとともに、個別最適な学びと協働的な学びの実現および環境整備を推進し、新たな時代に即応した学校教育の実現を目指します。

また、スポーツ・レクリエーションを通じた健康および体力づくりの推進、市民が生涯にわたって学び、活躍できるよう社会教育の充実を推進するとともに、幸手市の貴重な歴史、伝統文化を継承し、魅力を発信することで市民の郷土愛の醸成を目指します。

問合せ 総務課 ☎(43) 1111 内線 622・FAX(43) 3188

【学校教育分野】

【社会教育分野】

基本目標1 学校教育内容の充実

基本目標2 学校教育環境の整備

- 確かな学力の育成(基礎的・基本的な学力の定着と学習習慣の育成)
- 豊かな心と健やかな体の育成(道徳、体力向上、読書)
- 社会に出て活躍できる時代に即応した人材の育成
- 人権教育の推進
- 生徒指導・教育相談体制の充実(非行・問題行動、不登校対策の推進、いじめ防止対策の体制整備と推進)
- 家庭・地域の連携・協働による学校教育の推進
- 学校の働き方改革と資質向上および学校評価を生かした学校経営の改善
- 学校施設および教育環境の整備推進
- 安心・安全な学校給食の運営と食育の推進

――主な事業――

- ・幸手市統一学力調査の拡充
- ・児童・生徒1人1台タブレット端末の活用



- ・関東甲信越中学校道徳教育研究大会埼玉大会への支援
- ・各小・中学校道徳週間の実施
- ・志ノートの活用の推進
- ・外国語教育を充実するためのALTの効果的な活用

基本目標3 青少年の健全な育成

○青少年健全育成事業の推進と充実および読書活動の推進

――主な事業――

- ・子ども読書活動推進計画の実施
- ・子ども大学さつての実施
- ・放課後子ども教室の推進

基本目標4 社会教育の充実

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る関連事業の実施
- 市民との協働による社会教育活動の推進
- 公民館活動の充実
- 図書館運営の充実
- 体育施設の利用促進と管理運営の充実
- 市民との協働によるスポーツ・レクリエーション活動の推進

○人権啓発の充実

――主な事業――

- ・パラリンピック聖火リレーの支援



基本目標5 歴史・伝統文化の継承と活用

- 文化財の保護・活用と調査・研究
- 郷土資料館の活用と充実
- 歴史・伝統文化の継承

――主な事業――

- ・学校囲碁指導の実施
- ・市内で受け継がれている民俗行事や伝統文化の調査研究



毎年2回、予算の執行状況を公表

幸手市の家計簿

令和2年度下半期

(令和2年10月1日～令和3年3月31日)

市の人口 50,153人(令和3年3月31日現在)

一般会計 予算現額 228億2,374万円

収入

予算現額	収入済額(収入率)
国・県からの補助金 97億6,870万円 国・県から市が交付を受ける補助金・負担金など	91億 337万円 (93.2%)
市税 65億9,908万円 市民税、固定資産税など、みなさんに納めていただく税金	65億 946万円 (98.6%)
国・県からの交付金 36億2,109万円 国・県が徴収した税などの中から市が交付を受ける地方交付税など	38億 1,260万円 (105.3%)
市債 10億7,530万円 市が借り入れるお金	7億 9,150万円 (73.6%)
繰越金 7億 309万円 令和元年度決算による令和2年度予算への繰越金	7億 309万円 (100.0%)
そのほか 10億5,648万円 使用料、手数料など	10億 5,251万円 (99.6%)

収入済額 219億7,253万円(96.3%)

市民一人あたりの市税負担額 129,792円

支出

予算現額	支出済額(支出率)
総務費 68億3,221万円 広報・広聴、企画、市税の徴収などに使うお金	65億 8,689万円 (96.4%)
民生費 67億4,716万円 子育て支援や、障がい者・高齢者などの福祉に使うお金	60億 1,380万円 (89.1%)
教育費 22億6,110万円 小・中学校、生涯学習、スポーツ振興などに使うお金	19億 6,277万円 (86.8%)
衛生費 18億1,435万円 各種検診・予防接種、ごみ・し尿処理などに使うお金	13億 1,724万円 (72.6%)
土木費 13億8,428万円 道路や橋、公園などの整備・維持管理に使うお金	12億 8,014万円 (92.5%)
公債費 12億4,370万円 市債(市が借り入れたお金)の返済に使うお金	12億 3,096万円 (99.0%)
そのほか 25億4,094万円 消防費(消防、救急、防災・災害対策)など	21億 8,992万円 (86.2%)

※人件費や施設の光熱水費などは、各項目に含まれています。
※総務費には特別定額給付金に係る金額が含まれています。

支出済額 205億8,172万円(90.2%)

市民一人あたりに使ったお金 410,379円

特別会計

特別会計とは、特定の収入を特定の目的に使う場合など、一般会計と経理を区分するために設置している会計のことです。

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険特別会計	60億9,009万円	56億6,176万円	93.0%	55億8,474万円	91.7%
後期高齢者医療特別会計	6億9,550万円	6億7,787万円	97.5%	5億9,242万円	85.2%
介護保険特別会計	39億971万円	36億4,750万円	93.3%	34億6,954万円	88.7%
農業集落排水事業特別会計	3,903万円	3,872万円	99.2%	2,822万円	72.3%
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	5億4,031万円	4億3,864万円	81.2%	3億4,123万円	63.2%

企業会計

企業会計とは、特別会計のうち地方公営企業法の適用を受け、料金収入などでサービスを行う、企業的性格の強い会計のことです。

会計名・区分		収入			支出		
		予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
水道事業会計	収益の収支	11 億 2,794 万円	11 億 2,173 万円	99.5%	11 億 484 万円	10 億 4,965 万円	95.0%
	資本の収支	7,561 万円	5,437 万円	71.9%	5 億 4,387 万円	4 億 8,337 万円	88.9%
公共下水道事業会計	収益の収支	7 億 1,086 万円	7 億 1,456 万円	100.5%	7 億 2,126 万円	6 億 9,701 万円	96.6%
	資本の収支	4 億 7,779 万円	4 億 1,722 万円	87.3%	5 億 4,848 万円	4 億 3,509 万円	79.3%

※資本的収支の収入と支出の差額は、内部留保資金により補てんされます。

問合せ 一般会計・特別会計 財政課 ☎(43) 1111 内線 253・FAX(43) 3783
水道事業会計 水道管理課 ☎(48) 0050・FAX(48) 0120
公共下水道事業会計 下水道課 ☎(47) 3340・FAX(48) 0120